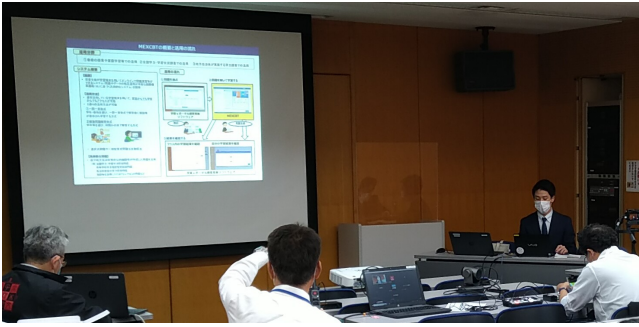


MEXCBTの研修会を終えて



私には、本校の校長としての仕事以外に、茨城県教育研究会情報教育研究部長としての仕事があります。昨日、私が企画した「県情報教育研究会第2回研修会」を、教育プラザいばらきで開催しました。今回のテーマは、MEXCBT（メクビット）。参加したのは、県内の小中学校からMEXCBTに関心のある先生たちです。運営には、県視聴覚教育振興会の皆様にも協力していただきました。

講師にお呼びしたのは、文部科学省総合教育政策局教育デジタルトランスフォーメーション推進室の福島様です。メクビットの実際の体験にあたっては、MEXCBTの委託事業者から東内様がオンラインで参加していただきました。

研修会に参加したのは、会場での対面に35名ほど、勤務校からオンラインが20名ほど。福島様からメクビットの概要について説明を聞いた後、後半にはメクビットを実際に動かしながら（当日、教師・児童体験用のアカウントがひとりひとりに配布されました）、具体的な操作方法を東内様に説明していただきました。会場の参加者がちょっとでも戸惑っていると、福島様が会場を歩き回りながら個別に説明をしたり、委託業者の東内様にオンラインで声をかけて進行を随時ストップするなどしてくれました。臨機応変に対応していただき、本当にありがとうございました。



会場は熱気にあふれました。参加された皆さんが、メクビットを吸収しようとして熱心に取り組んでいる姿をみて、この研修会を企画してよかったと心底思いました。以下に、当日提示された説明資料をアップします。興味のある方はぜひご一読ください。今の茨城県の立ち位置も分かるかもしれません。

-  [文部科学省CBTシステム（MEXCBT）について：茨城県版\(pdf 3.81 MB\)](#)

こちら↓のサイトも非常に有益です。ぜひ、ご覧ください。

- [文部科学省CBTシステム運用支援サイト](#)

最後に、この企画がどうして実現したか、について書かせてください。きっかけは、5月ごろ、私が文部科学省に一本の電話をしたことです。ダメもとで、「県の研修会で、メクビットの説明に来てくれませんか？」と尋ねようと思いました。そこで、対応していただいたのが福島様でした。そこから、具体的な話になるのはあっという間でした。動きは速かったです。「文部科学省の動きってこんなに速いのか！イメージと違う！！」と（失礼）、その時思いました。福島様、本当にありがとうございました。そして、当日、通信機器の不具合等がありバタバタするなか、辛抱強くこちらの進行を待っていただけた参加者の皆様に、この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました！一緒に、メクビットを盛り上げていきましょう！！